



六桜花



令和2年度 第10号

初島小学校 学校通信
令和2年 8月 26日
発行責任者 植村由香

2学期のスタート

8月24日(月)、16日間の夏休みを終えて、2学期が始まりました。新型コロナの感染対策には改めて気を引き締めて取り組まなければいけない現状ですが、加えて熱中症予防も十分な対策が必要です。

始業式の校長講話では、2学期をより充実した日々にとの思いから、2つのことについて話しました。

~~【前略】~~

学校の授業も同じです。授業で、先生たちは一生の基礎になることをしっかりと教えます。そのとき、考え方や学ぶ方法を教えます。

皆さんは今まで、もしかしたら先生から教えてもらうことだけをやっていたかもしれませんが、2学期からは、授業を受けて、自分で「これはどういうことかな?」とか、「どういう意味かな?」ということを見つけて図書室で調べたり、辞書をひいたり、または先生にもっともっと質問したり、授業で習ったことをさらにさらに 広げていって下さい。これで、学習の質がかなりあがって、丈夫な基礎ができていきます。

皆さんの長い一生(100歳もつとかな?)を幸せに生きていくために、今、たくさんの丈夫な基礎を作っていくってほしいと思います。このように、「**進んで学習しようとする**」ってとても素敵なことです。

もう一つ、私が言いたいことは、「**みんなが力を合わせて楽しい生活を送る**」ということです。今年の2学期は運動会や音楽会がありません。でも、毎日みんなで力を合わせることはできます。今日は、その秘訣、上手くはかどるコツを教えます。それは、「ありがとう」と「ごめんなさい」という言葉です。友達や先生、家の人などに「ありがとう」と「ごめんなさい」を進んで言ってみて下さい。何かしてもらったら、「ありがとう」「ありがとうございます」、いやな思いをさせたなと思ったら、「ごめんなさい」。

「そんなの、今まで言ってる。」と思っても、慣れるまでの毎日、意識して自分から言ってみて下さい。人はみんな1人では生きていけません。学校は集団生活を勉強する場でもあります。

この2つの言葉が、お互いに素直な気持ちで今まで以上に言えたなら、みんなの笑顔が増えて、もっともっと楽しい学校生活が送れると思います。

~~【後略】~~

気温の高い体育館での始業式でしたが、全員の真剣なまなざしに見つめられ、とってもわくわくした気持ちになりました。95名の2学期の成長が楽しみです。

明朗会の皆様 ありがとうございます!

8月19日(水)、環境整美作業を行いました。例年は、5、6年生の登校日に保護者の方々にも参加していただくのですが、今年は夏休みが短いことで登校日がないため、14、5名の明朗会の方々に助けて頂きました。体育館とプールの中の植え込みを刈っていただいたり、草をひいていただいたりして、見違えるほどきれいになりました。とても暑い中、参加していただいた明朗会の方々、本当にありがとうございました。学校はいつも大勢の地域の方々を支えられています。



暑い中、お疲れ様でした。



かなり、すっきりしました!



乾燥させて処分します。

学習指導員 古田祥子先生 ALT(外国語指導助手) ニコラス・ホール先生

2学期から、2名の先生に新しく勤務していただくことになりました。

古田先生は、曜日によって2時間から4時間という勤務ですが、5・6年生の算数などを中心に担任と一緒に授業をします。和歌山県女子サッカーチームのキャプテンでゴールキーパーとして活躍されています。児童の皆さんでサッカーに興味のある人は、是非教えてもらってください。

また、ニコラス先生は、イギリスの方で日本での外国語指導の経験も豊富です。初小の前は奈良の中学校に勤めていたそうです。趣味は水泳、読書、日本の歴史、そして蒸気機関車のプラモデルを集めること。多趣味です。小学生がかわいくて、ふれあいを楽しみにしているそうです。



初小の子どもたち



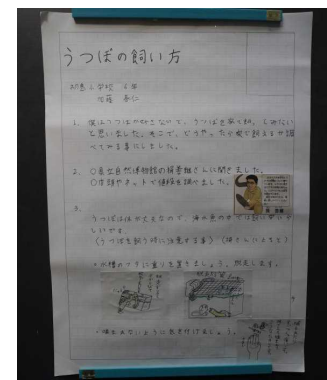
今年は行けなかった花火大会の絵をバックに(5年)



休み中、貯金箱を作りました(1年)



提出前の宿題をチェック中(3年)



自由研究「うつぼの飼い方」(6年)